りそな総合研究所
RESONA

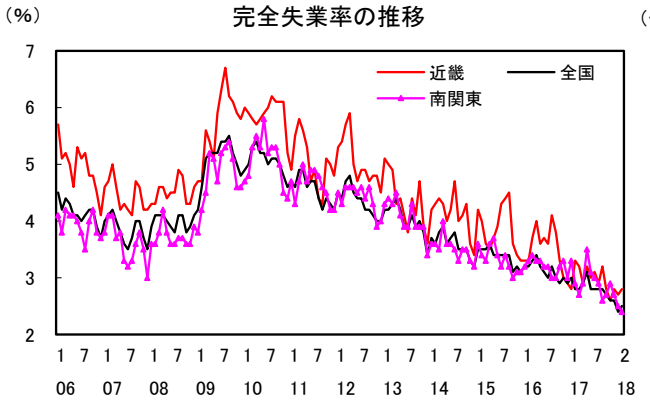
2018 年 3 月 30 日

関西の景気トピックス【雇用関連（18 年 2 月）】

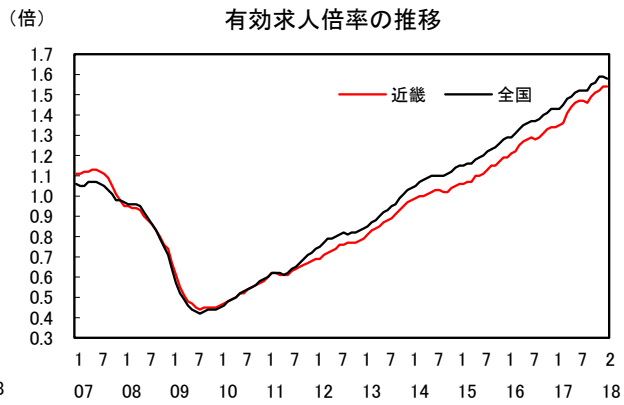
○ 18 年 2 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 2.8%（原数値）と、前年比で 0.5 ポイント低下している。一方、変化の内訳は、就業者数が前年比で 27 万人増えた一方、失業者は 5 万人減少、非労働力人口も 27 万人の減少となった。

○ 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、18 年 1 月は 1.54 倍（季節調整値）と前月から横ばいの推移となった。なお、1.54 倍は 1974 年 5 月以来（1.63 倍）の水準である。

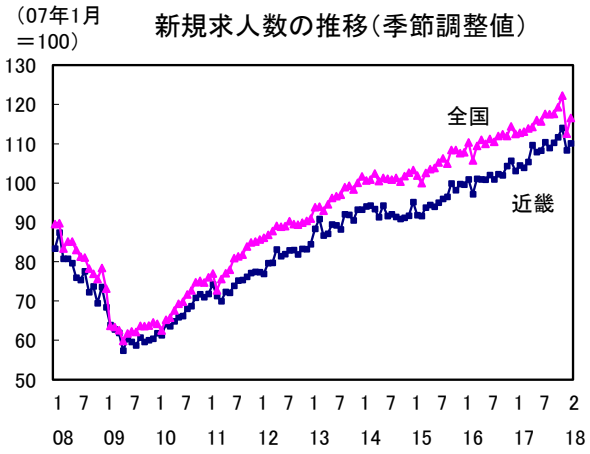
○ 近畿の失業率は 2%台の低い水準が続いており、有効求人倍率も 1.5 倍超の高水準が続いているなど、雇用情勢は概ね好調といえる。一方、賃金動向も増加傾向にあるが、前年の反動もあるため、その持続性が注目される。



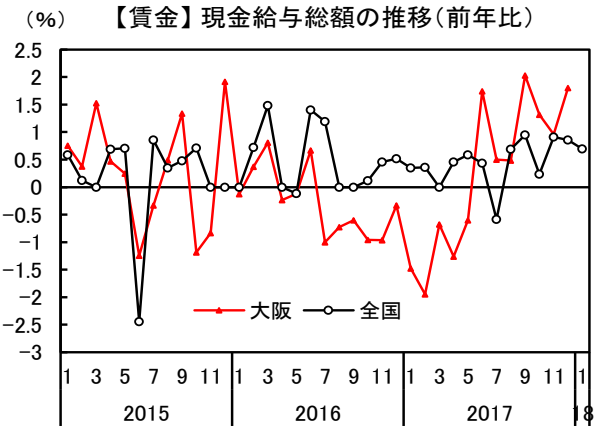
※すべて原数値　（出所）総務省「労働力調査」



（出所）厚生労働省「職業安定業務統計」



（出所）厚生労働省「職業安定業務統計」



（出所）厚生労働省「毎月勤労統計調査」

本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL:06（4705）3635　mail:hd-araki@rri.co.jp